

9月1日は防災の日です

地震への備えと対処をしましょう

▷問い合わせ 庶務係 (☎223-3572)

今年、大正12年(1923年)に発生した関東大震災から100年の節目に当たり、関東大震災の発生日である9月1日は「防災の日」と定められています。

この地震の震源は、人口が集中する首都圏に近く、家屋の倒壊、山間部の崖崩れなどの土砂災害、沿岸部での津波被害といった、多岐にわたる被害をもたらしました。



2023年
関東大震災 100年

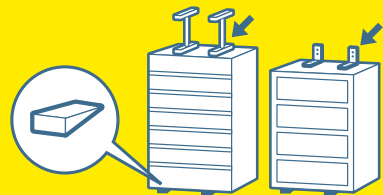
また、発生時刻(11時58分)が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、大規模な延焼火災へと拡大しました。関東大震災により全壊・半壊・消失・流出・埋没の被害を受けた住居は総計約37万棟にのぼり、死者・行方不明者は約10万5000人におよびました。

地震に備えましょう

突然の地震に備えて家の中を見直してみましょう。

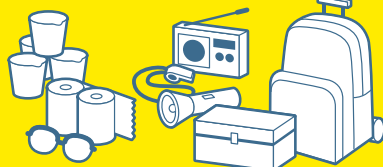
自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう

□ 家具の固定



□ 非常用

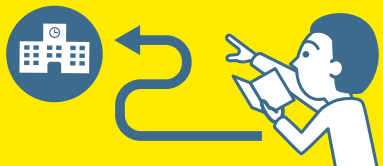
持ち出し袋の準備



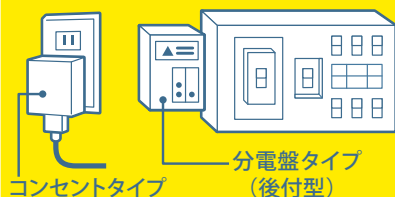
□ 水や食料の備蓄



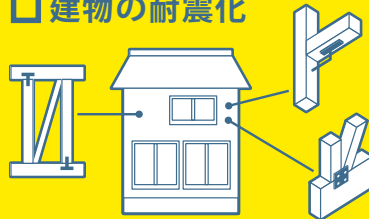
□ 避難場所や 避難経路の確認



□ 感震ブレーカーの設置



□ 建物の耐震化



地震に対する住宅の備えに
芦屋町には、木造戸建て住宅耐震改修補助金があります!

最大 60 万円

町内にある木造の戸建て住宅の耐震改修工事を行う場合、補助金が出ます。補助額は、対象経費の40%か60万円の低い方の額です。詳しくは問い合わせてください。

▷問い合わせ 地域振興・交通係 (☎223-3539)

地震が発生したら

緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたりしたら、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。揺れが収まったら、津波警報に合わせ、少しでも高い所へ避難を開始しましょう。大きな揺れの場合は、機器の障害などで津波情報が届かない場合があります。津波警報を待たずに高い所へ避難を開始しましょう。



屋内

- 安全な部屋に避難
- 頭部を保護し、低い姿勢で、机の下など安全な場所に避難
- あわてて外へ飛び出さない・無理に火を消そうとしない



避難中

「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」

これは小学校などの避難の基本ですが、大人になっても守りたい事項です。

この中で「もどらない」があります。安全な場所に避難したのに、家族、親せきやペットのために戻りたいと思う人がいますが、津波警報が解除されるまで危険な場所に戻ってはいけません。家族などの安否確認は安全な場所から行いましょう。

おさない はしらない



しゃべらない もどらない



屋外

避難するときは次のことに注意しましょう。

- ブロック塀などの倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



通電火災に注意

地震で倒れた電気ストーブ、アイロンなど電化製品の電源が入ったままになっていて、停電から電気が復旧した後で、接していた箇所から燃え出すなどにより発生する火災を通電火災といいます。

避難などで家を空ける際は、

- ①使用中だった家電のスイッチを切る
 - ②電源プラグをコンセントから抜いておく
 - ③ブレーカーを落とす
- 避難先から戻ったら、
- ④家電の破損がないかなどをよく確認し、再通電させる
- このようなことに気を付けて出火を防止しましょう。



～九州電力送配電からのお知らせ～

停電に備えましょう!

チャット受付

「あれっ停電?」と思ったら…

停電情報自動応答サービス 24時間対応



携帯メールサービス 事前登録が必要

※記載の停電情報
利用サービスは無料です。

停電情報通知サービスfor LINE

九州電力送配電

停電の際には、九州電力送配電に確認してください